

びわ湖かがやき ★カンパニー

びわ湖のほとりで「キラ」っと輝く滋賀県
中小企業家同友会メンバーの事業所、
商品、サービスをご紹介します。

<インタビュー>

取材まとめ：八木真紀（有限会社ウエスト）



vol. **76**
2017年10月発行

株式会社 滋賀フーズ

パン、和菓子、総菜などの委託製造販売のほか、滋賀の特産品とコラボレーションしたオリジナル商品も開発する株式会社滋賀フーズ。代表取締役・水野茂樹さんを取材しました。
(取材／8月17日)



「食」に携わる事業の追求 サンマルクでの経験活かし、独立

これまでの歩みとは。

水野 実家は高島の今津にあり、私は明治時代から続く和菓子屋の三男として生まれました。戦後は大手菓子メーカーの特約店となり、二代目の祖父が菓子類の間屋業へ本格参入し、湖西商事株式会社を設立しました。このように食に携わる一家であったこともあり、長男の兄が23年前、サンマルクのフランチャイズ店を守山に立ち上げました。私も開店以降はチーフ、店長、マネージャーを経験し、営業活動や外販部門も担当しました。オープン当時は爆発

的な人気で、ランチャやディナー時には長蛇の列ができ大変な盛況ぶりでした。全国100店舗ほどのフランチャイズ店の中で、料理部門売上No.1になっていたほどでした。しかし、リーマンショック後は売上が急激に落ち、後にオープンした草津店は昨年閉店に追い込まれました。

2010年、私は15年勤めたサンマルクから独立し、草津店のベーカーリーを朝4時から5時間だけ間借りする状態でパンの卸売製造業をスタートしました。創業からこれまでの間では、資金調達や職場環境の整備、スタッフの確保と信頼関係等、多くの困難に直面しましたが、これまでの経験で得た知識やスキルを活かし自分の足で積極的に取引先を開拓していきました。サンマルクという名前が大きな武器となり、そのブランド力にチャンスをもたらしながら、近年は自社のブランドを周知してもらいつつあります。

“食は人を良くする” 未利用の地域資源を活用

地域の特産品とコラボしたオリジナル商品が好評のようですが、こうした商品を開発されたきっかけとは。

水野 若い頃、知人が立ち上げた肥料メーカーを手伝った時期があります。そのとき、出張先の九州で出会った農



栗東いちじくデニッシュ



守山×ロンシュークリーム



雷魚カツバーガー、ドッグ

滋賀の地域特産品と組み合わせたオリジナル商品。琵琶湖の外來魚を使ったメニューも考案。

家さんが言われた「食は人を良くする」という言葉が、ずっと私の心から離れませんでした。また、熊本のトマト農家さんで大量の奇形やキズ物の未利用品のトマトを目にし「各農家で売れずに残ってしまう未利用資源があるはず。これを利用して何かできないか」と、その当時から考えていました。

J A直売所や道の駅、生産農業組合に飛び込みでコラボ企画の営業をし、栗東のいちじく、守山のメロンやいちご、竜王の桃や柿などの地域特産物の未利用品を使って、パンやスティックパイ、菓子などのコラボ商品を開発しました。スティックパイは、県が地産地消を推奨する「おいしがうれしが」の商品としてさまざまな賞もいただきました。

**機械の導入で効率化
歴史に残る「食」の提案を**

現在の事業内容や今後のビジョンを
教えてください。

水野 ♪手作りパンのPRを強化した
ことや日持ちのするスティックパイ
を商品開発したことで、一気に販路が
拡大しています。現在、道の駅やJA
直売所、学校給食のほか、大手の事業

またこの秋、滋賀の観光や飲食物、
移住などをPRする滋賀県情報発信拠
点「ここ滋賀」が東京・日本橋にオー
プンするのですが、当社の「滋賀まる
ごとスティックパイ」を特産品コー
ナーに陳列することが決まっています。



県内の特産品を練り込んだサクサクのパイは、滋賀のお土産の代表格に。また
お客さまから預かった素材で商品化し、シール等のラッピング類もオリジナル
品を提供できるため、ノベルティにも喜ばれています。



守山産業フェア販売

所や県立高校での出張販売、さまざま
なイベントへの出店、また、高速道路
のサービスエリアは繁忙期に何往復も
して納品しています。フル回転でパン
やパイを作っていますが、追いつかない
と感じるときがあります。今後、さら
なる事業拡大を見据えると「機械化」
が大前提になるでしょう。例えばス
ティックパイも製造工程での無駄を省
くため、オーブンで焼成するだけでな
く食品乾燥機で一気にサクサクに仕上
げるなど少しずつ機械を導入し、効率
化を図っていきます。しかしながらパ
ンや焼菓子の味を左右する「手作り」
にはこだわっていききたいですね。

委託販売は返品があり、季節や天気
にも左右されるので製造販売数を計る
ことに日々頭を悩ませています。しか
し、サンマルク時代で「待つ」商売の
厳しさを知っているため、当面は店舗
での営業はせず、出張や卸販売を主と
したパンや
焼菓子製造
に力を入れ
ていくつも
りです。そ
して、滋賀
産具食材と
のコラボ商
品のように、
食を通じて
地域活性化



株式会社 滋賀フーズ

守山市石田町240-13
TEL 077-599-0012



商品シール自社作成



オープン前スタッフ



パン製造



パイ焼成

現在、従業員数は正社員・パート合わせて14人。それぞれのスタッフ
の働きが会社を支えています。「社員とは食事を開き、労をねぎら
いながら情報交換をしています。ここでも人が良くなるのが大切です」と水野社長。

に貢献し「歴史に残る食べ物」を作り
続けたいと思っています。滋賀県(琵琶
湖)に波紋をおこすイメージで、会
社のロゴをデザインしました。まずは
2020年の東京オリンピックを視野
に入れ、100年以上
愛される商品を作り出
すことが、当社の今後
の大きなビジョンです。



滋賀フーズのロゴ

「びわ湖かがやきカンパニー」に掲載希望の会員様は、同友会事務局までご連絡ください。
お申し込み多数の場合は、理事会等で掲載順を決めさせていただきますのでご了承ください。

滋賀県中小企業家同友会事務局
TEL 077-561-5333

周年事業はチャンスなのです。

「10周年」を迎えられる企業は100社に5社。

「30周年」は10,000社に2.5社しか残らないと言われています。

有限会社ウエストは、周年事業をステークホルダーへの感謝と共に未来への意思表示の機会と考えています。
弊社は、感謝を表現する式典の運用や記念誌製作から、戦略決定のお手伝い及びその広報活動など、
周年に関するワンストップサービスをご提供いたします。

